

事務事業名		塩谷町町制施行50周年記念事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	効率的な行財政運営によるまちづくり				所属課	総務課	担当	行政人事担当
	施策名	効率的な行政運営の推進				課長名	廻谷 陽一	担当者名	粕谷 嘉宏
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等 塩谷町町制施行50周年記念事業実行委員会設置要綱・冠事業取扱要領	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (25 年度～ 27 年度)		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年2月11日に町制施行50周年を迎えるにあたり、平成26年度において、関連の記念事業を実施する。 町制施行50周年記念事業実行委員会の設置、同準備委員会の設置、町制施行50周年記念冠事業取扱要領の制定 功労者表彰、観音橋開通式、佐貫観音磨崖仏調査事業、和気記念館記念展、塩谷中学校統合10周年とのコラボ、山の日制定関連行事、夏季巡回・特別巡回ラジオ体操、町勢要覧(記念誌)、(仮称)しおや応援団の募集、フォトコンテスト(名木50選)等を予定 <p>2 概算事業費</p> <p>H25 名刺・スタッフポロシャツ類・ポスター・チラシ・ペットボトルラベル・記念ストラップ等作製一式</p> <p>H26 町勢要覧の調製、記念式典関係費用、表彰関係費用、(仮称)しおや応援団への各種案内、ラジオ体操、フォトコンテスト等関連費用、町主催各種冠事業への事業費上乘せ等</p> <p>H27 ラジオ体操等、事情によりH26に未実施になった場合、繰越し実施する場合もある</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	町制施行50周年に向けた各種事業の実施	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	町民、招待者	ア 冠事業数	回
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	計画した事業の適切な実施	イ 招待者	人
		名称	単位
		ア 町民	人
		イ 招待者	人
		名称	単位
		ア 計画に対する進捗率	%
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	回	0	10	0		
	イ	実績値	回					
対象指標	ア	目標値	人	12,940	12,880	12,820		
	イ	実績値	人	0	800	0		
成果指標	ア	目標値	%	0	100	100		
	イ	実績値	%					

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	2,000	10,000	0		
	事業費計(A)	千円	2,000	10,000	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	13	13	0		
	延べ業務時間	時間	240	500			
	人件費計(B)	千円	960	2,000	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,960	12,000	0	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町制施行に関係する事業であり妥当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	当該年度を中心に事業を展開し、前年度を準備期間とする	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	計画から、必要な事業費を積算したが、適切で効率的な運営をする	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町単独事業であり、町の財源で対応	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 11 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・積算根拠を具体的に示すこと ・予算の流れについて、企画調整課と調整し明確にすること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・一般財源ではなく、ふるさと創生基金からの支出してはどうか

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業